

今年は季節が半月以上早く進んでいる気がします。横浜ではツツジも盛りが過ぎそうです。皆さんのところではどうでしょうか。

さて、1年目の先生たちは研修を始めて2週間が経ちましたが、まだ仕事にも生活にも慣れていない中で調子を崩さずに過ごすのは大変だと思います。まあ、皆さんスマートな方たちなので、それほど心配はしていません。一方で、2年目の先生たちは夜間の救急や病棟の仕事など、ほぼ全ての業務を一人でこなさなければなりません。以前は、指示を待つだけで良かった一番下の立場でしたが、ここで主体的に物事を進める必要が出てきます。

特に救急のローテーションでは、あえて年度をまたぐローテーションが設定されているため、担当する先生たちは相当に大変だと思いますが、いえいえ、1年が経つと、立派に成長できるものです。右も左も分からない1年目の研修医を指導しつつ、上級医から容赦ない質問を受けている2年目の先生たちに対して、研修の成果が着実に身につけているのだなあ、と感心します。鉄は熱いうちに打つ、という言葉があるように、私もこの1年でなしたことを反省しなければなりません。



昨年度で研修を終了し、専攻医として当院に残った3名の先生たちは、皆さん大変だと言いながらも、それぞれに頑張っているようです。上級医からの指導はありますが、自分で決定を下すことが求められると、やはりドキドキしますよね。

来月からは1年目の研修医も救急外来の当番に入ることになります。指示待ちでは困ります。できることを探し、分からないことは調べて聞く。それが繰り返されることで、成長していけるのだと思います。

2年目になると一人でやることになります。縫合関係は外科系志望なら必須ですね。